



三日野 おやじの会 活動報告 13



平成19年12月3日
三日野おやじの会

5年毎に開催される三日野同窓会、及び、毎年恒例のお餅つき大会の支援を行いました。開講85周年を祝う、現校舎最後の同窓会には、200名を超える同窓生・教職員が集まりました。翌週のお餅つき大会にも、多くの児童・保護者が集まり、つきたてのお餅を堪能しました。

餅つき大会支援（12月1日）

毎年恒例のお餅つき大会、今年度は12月の開催となりました。おやじの会としては今回で2回目となる餅つき支援、おやじの担当は主に力仕事。杵や臼の準備、会場設営、つき方のお手本、終了後の撤収作業など、すっかり慣れた手つきで、円滑な大会運営に貢献しました。今回はお雑煮がなかったため、参加者もやや少な目でしたが、楽しく、美味しい一時が流れた三日野です。



餅つき機のセッティング



餅米の準備



お釜のセッティング



デモンストレーション



6種類のお餅を用意



校長先生は餅つきが得意

毎回、お世話になっているヒノヤさん、今回も美味しいお餅をありがとうございました



三日野85周年記念同窓会支援活動（11月23日）



体育館のセッティング



校庭の落ち葉拾い



メイン会場全景



校庭での受付風景

三連休の初日は、北風の強い、寒い一日でした。三日野開講85周年記念を祝う同窓会(5年毎に開催)は、200名を超す大賑わいとなりました。おやじの会では、この同窓会の設営・撤収の支援を行いました。おやじの会のメンバーにも、三日野の卒業生がおります。卒業生を代表して、又、おやじの会代表として、懐かしい一時を楽しみました。同窓会終了後、同窓生毎に教室で個別の会を開きました。皆さん、かなり盛り上がっていたご様子です。裏(夜)の同窓会も覗いてみたかったですよね。



《編集後記》

肝試しに続く行事、今の三日野校舎では最後となる同窓会の支援、そして毎年恒例の餅つき大会の支援を行いました。85周年という、輝かしくも長い歴史と共に、学びの城が受け継がれ、次回5年後の90周年は新校舎での開催となります。肝試しで活躍した妖怪達も同窓会を楽しんだことでしょう。餅つきは、日本の良き伝統行事の一つ。年末に実施して、お正月に備えるのが本来のタイミングでしょう。皆様、良いお年をお迎え下さい。(や)